

予 算 科 目		款	項	目	節	細節	課長	下水道 維持担当係長	下水道 維持担当係長	照査	設計
公共下水道事業 会計		管渠費	002	01	01	023	031				
事 業 名	令和8年度 公共下水道マンホールポンプ施設 運転維持管理 業務委託 丸子地区 (実施 設 計 書)										
委 託 場 所	上田市 丸子処理区 (マンホールポンプ 14箇所) 東内処理区 (マンホールポンプ 8箇所) 西内処理区 (マンホールポンプ 8箇所) 合計 30箇所										
	業務期間 令和8年4月1日 から 令和9年3月31日 まで 365 日										
設 計 概 要	下水道施設の運転維持管理業務 <hr/> 丸子処理区 マンホール形式ポンプ場 14箇所 12か月間 処理区分別設計金額 東内処理区 マンホール形式ポンプ場 8箇所 12か月間 処理区分別設計金額 <hr/> 西内処理区 マンホール形式ポンプ場 8箇所 12か月間 処理区分別設計金額 <hr/> 合計 マンホール形式ポンプ場 30箇所 12か月間 合計設計金額							設 計 額			
								設 計 額 の 100/110			
								消費税相当額			

上田市上下水道局

# 委託業務費内訳書

費目	工種	種別	単位	数量	単価	金額	摘要
直接業務費	直接業務積上						
		丸子,東内処理区マンホールポンプ	式	1			第1号 内訳書
		西内処理区マンホールポンプ	式	1			第2号 内訳書
直接経費	経費率計算分						
		丸子,東内処理区マンホールポンプ	式	1			
		西内処理区マンホールポンプ	式	1			
	積上計算分						
		丸子,東内処理区マンホールポンプ	式	1			第1号 内訳書
		西内処理区マンホールポンプ	式	2			第2号 内訳書
	直接経費合計						直接経費+直接経費積上げ
		丸子,東内処理区マンホールポンプ	式	1			0
		西内処理区マンホールポンプ	式	1			0
技術経費	率計算						
		丸子,東内処理区マンホールポンプ	式	1			第1号 内訳書
		西内処理区マンホールポンプ	式	1			第2号 内訳書
間接業務費	率計算						
		丸子,東内処理区マンホールポンプ	式	1			
		西内処理区マンホールポンプ	式	1			
業務原価計							直接業務費+直接経費(合計) +技術経費+間接業務費
		丸子,東内処理区マンホールポンプ	式	1			
		西内処理区マンホールポンプ	式	1			
諸経費							
		丸子,東内処理区マンホールポンプ	式	1			業務原価*諸経費率
		西内処理区マンホールポンプ	式	1			

費　目	工　種	種　別	単位	数量	単　価	金　額	摘　要
経費対象外費							
		丸子東内処理区マンホールポンプ	式	1			
		西内処理区マンホールポンプ	式	1			
業務価格			式	1			業務原価+諸経費+経費対象外費
		丸子東内処理区マンホールポンプ	式	1			
		西内処理区マンホールポンプ	式	1			



第1-2号 代価表			直接経費(積上げ分)				丸子東内処理区マンホールポンプ	
費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
直接経費			通常点検+特別点検 (年間)					
		トラッククレーン賃料(2t車・2t吊り)	ポンプ吊上げ・吊降し	日				P206
		高圧洗浄機(吐出量 30.8圧力7.8)捐料		日				R205

第1-3号 代価表			経費対象外				丸子東内処理区マンホールポンプ	
費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
経費対象外費								
		遠隔監視装置用サー バー保守点検料	サーバ管理費用 *狹窪4.6号MP対象外	箇所	19			T601
		道路使用許可申請手 数料	所管警察への手数料 年12回	回	12			T701

第2-2号 代価表		直接経費(積上げ分)				西内処理区マンホールポンプ		
費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
直接経費			通常点検+特別点検 (年間)					
		トラッククレーン賃料(2t車・2t吊り)	ポンプ吊上げ・吊降し	日				P206
		高圧洗浄機(吐出量 20.8[m <sup>3</sup> /分])賃料		日				R205

## 公共下水道マンホールポンプ施設 運転維持管理 業務委託 丸子地区

## 業務別職種構成比率(共通)

業務 職種	保守点検 (%)				その他 (%)
業務総括責任者	5%				
副総括	15%				
主任	30%				10%
技術員	25%				
技能員	25%				20%
その他	0%				70%

## 1 丸子東内処理区マンホールポンプ

\*起点は丸子処理場とする

\*巡回速度は30km/hrとする。

## 保守点検業務人数・日数計算表

開始 月 ヶ月	期間 巡回 順	名称	台 数	巡回 距離 km	通常点検				特別点検				誘導 員B配 置の 可否	
					1箇所あたり作業時間: 0.00 時間				1箇所あたり作業時間: 0.0 時間					
					巡回頻度	年間	保守点検	年間所 巡回年間	巡回頻度	年間	保守点検	年間所 巡回年間		
					a日に1度	巡回数	所要時間	要日数	a日に1度	巡回数	所要時間	要日数	所要日数	
4	12	1	石井第1	2	0.9	30	12		182.5	2				○
4	12	2	石井第2	2	0.4	30	12		182.5	2				×
4	12	3	郷仕川原	2	2.6	30	12		182.5	2				×
4	12	4	松葉	2	0.9	30	12		182.5	2				×
4	12	5	南方	2	0.7	30	12		182.5	2				○
4	12	6	依田	2	3.5	30	12		182.5	2				○
4	12	7	下の池	2	3.2	30	12		182.5	2				×
4	12	8	三角	2	3.9	30	12		182.5	2				×
4	12	9	上組	2	0.8	30	12		182.5	2				○
4	12	10	東内	2	1.5	30	12		182.5	2				○
4	12	11	和子1号	2	3.1	30	12		182.5	2				○
4	12	12	荻窪1号	2	2.9	30	12		182.5	2				○
4	12	13	荻窪2号	2	0.2	30	12		182.5	2				×
4	12	14	荻窪6号	2	0.3	30	12		182.5	—				×
4	12	15	荻窪7号	2	0.2	30	12		182.5	2				○
4	12	16	荻窪3号	2	0.2	30	12		182.5	2				×
4	12	17	荻窪4号	2	0.8	30	12		182.5	—				×
4	12	18	荻窪5号	2	0.3	30	12		182.5	2				○
4	12	19	腰越町	2	7.1	30	12		182.5	2				○
4	12	20	向井	2	0.6	30	12		182.5	2				○
4	12	21	道久	2	0.7	30	12		182.5	2				×
4	12	22	深山	2	1.6	30	12		182.5	2				×
264ヶ月	22箇所				計	264.0			計	40.0				
		1巡回所要日数: 0.00日					保守点検所要日数: 0.00日			保守点検所要日数: 0.00日				
					交通誘導員配置対	0.0	0.00		交通誘導員配置対	0.0	0.00			

\*石井1号については非常用発電機が設置されているため、点検時に試運転等を行うため点検時間を通常、特別ともに0.5時間加算している。

\*荻窪4・6号は未使用につき点検は通常点検のみとし、点検対象箇所数が少ないとから通常点検時間は0.5時間とする。

\*誘導員不要箇所とは公道外のため警備法における交通誘導員が不要との事であり、作業時は必ず槽外監視者及び安全設備を配置すること。

## 1)保守点検業務

	基準 人数	年間所要 日数	年間 巡回 所要 日数	計	補正率			年間延べ 業務人数	職種別業務人数		
					緊急 時対 応	冬季 補正	計		職種	職種 構成比率 %	人数
通常 点検				1.3	0.0	1.3			業務総括 責任者	5%	
									副総括	15%	
特別 点検				1.0	0.0	1.0			主任	30%	
									技術員	25%	
計									技能員	25%	
									その他	0%	
									計	100%	

## 2) その他業務

	基準 人数	年間所要 日数	年間 巡回 所要 日数	計	補正率			年間延べ 業務人数	職種別業務人数		
					緊急 時対 応	冬季 補正	計		職種	職種	構成比率 %
通常 点検					1.3	0.0	1.3		業務総括 責任者	0%	
									副総括	0%	
特別 点検					1.0	0.0	1.0		主任	10%	
									技術員	0%	
									技能員	20%	
									その他	70%	
計									計	100%	

## 3) 交通誘導員・賃料

項目	算出根拠	数量	単位
交通誘導員	(通常点検所要日数+特別点検所要日数) × 2人		人/年
クレーン付トラック賃料	特別点検所要日数による		日/年
高压洗浄機損料	通常保守点検年間所要日数+特別保守点検年間所要日数		日/年

## 4) 官公庁諸申請業務

項目	算出根拠	数量	単位	全地区分
道路使用許可申請	所管警察署への申請(年12回 × 1人 × 1時間)		人/年	
道路通行制限許可申請	道路管理者(市道)への申請(年6回 × 1人1時間)		人/年	
	合計		人/年	

小数点1位止め

## 2 西内処理区マンホールポンプ

マンホールポンプ

\*起点は西内処理場とする  
\*巡回速度は30km/hrとする。

保守点検業務人数・日数計算表

開始月 ヶ月	期間 巡回順	名称	台数	巡回 距離 km	通常点検						特別点検						誘導員B配置の可否				
					1箇所あたり作業時間: 0.00 時間						1箇所あたり作業時間: 0.0 時間										
					巡回頻度	年間	保守点検	年間所	巡回年間	a日に1度	巡回数	所要時間	要日数	所要日数	巡回頻度	年間	保守点検	年間所	巡回年間		
4	12	1	西内1号	2	2.5					30	12				182.5	2				○	
4	12	2	西内2号	2	2.0					30	12				182.5	2				○	
4	12	3	西内3号	2	1.5					30	12				182.5	2				×	
4	12	4	西内5号	2	1.0					30	12				182.5	2				×	
4	12	5	西内4号	2	0.6					30	12				182.5	2				×	
4	12	6	茂沢	2	0.6					30	12				182.5	2				○	
4	12	7	戸羽	2	0.6					30	12				182.5	2				○	
4	12	8	宮沢	2	1.5					30	12				182.5	2				×	
96ヶ月		8箇所								計	96.0				計	16.0					
		1巡回所要日数: 0.00日								保守点検所要日数: 0.00日						保守点検所要日数: 0.00日					
		交通誘導員配置対								交通誘導員配置対	0.0	0.00			交通誘導員配置対	0.0	0.00				

\*西内2号については非常用発電機が設置されており、点検時に試運転等を行うため点検時間を通常、特別ともに0.5時間加算している。また西内2号は公道外であるが、観光地内であることを考慮し、誘導員の配置対象とする。

\*誘導員不要箇所とは公道外のため警備法における交通誘導員が不要との事であり、作業時は必ず槽外監視者及び安全設備を配置すること。

### 1) 保守点検業務

	基準 人数	年間所要 日数	年間 巡回 所要 日数	計	業務実施割合補正率			年間延べ 業務人数	職種別業務人数		
					緊急 時対 応	冬季 補正	計		職種	職種 構成比率 %	人数
通常点検					1.3	1.067	1.39		業務総括	5%	
特別点検					1.0	0.000	1.00		副総括	15%	
計									主任	30%	
									技術員	25%	
									技能員	25%	
									その他	0%	
									計	100%	

### 2) その他業務

	基準 人数	年間所要 日数	年間 巡回 所要 日数	計	業務実施割合補正率			年間延べ 業務人数	職種別業務人数		
					緊急 時対 応	冬季 補正	計		職種	職種 構成比率 %	人数
通常点検					1.3	1.067	1.39		業務総括	0%	
特別点検					1.0	0.000	1.00		副総括	0%	
計									主任	10%	
									技術員	0%	
									技能員	20%	
									その他	70%	
									計	100%	

### 3) 交通誘導員・賃料

項目	算出根拠	数量	単位
交通誘導員	(通常点検所要日数+特別点検所要日数) × 1人		人/年
クレーン付トラック賃料	特別点検所要日数による		日/年
高圧洗浄機損料	通常保守点検年間所要日数+特別保守点検年間所要日数		日/年

## 労務等 単価表

・「電工」を基準に職階補正を行う根拠は「下水道施設維持管理積算要領-処理場・ポンプ場施設編-」による。

### 1) 人工・労務単価

処理場(OD・標準活性汚泥)・MP共通

コード	職階	職階別補正率	労務単価		摘要				
R1001	総括責任者	1.30			コードは独自による				
R1002	副総括責任者	1.15							
R1003	主任	1.00							
R1004	技術員	0.90							
R1005	技能員	0.75							
R1006	その他作業員	0.60							
コード	人工・損料等	数量	単位	労務単価	摘要				
RA405	電工	1	日						
RA010	普通作業員	1	日/人		1日8時間で計上、 1時間=0.125人				
RA005	特殊作業員	1	日/人						
RA070	特殊運転手	1	日/人						
SA063	交通誘導員B	1	日/人						
コード	名称	数量	単位	建設物価	R7.11	積算資料	R7.11	採用額	適用
R201	2tダンプトラック賃料	1	日/台		P802		P280		
P206	トラッククレーン賃料(2t車・2t吊り)	1	日/台		P802		P280		
R202	肩掛け刈払機230mm損料	1	日/台	建設機械損料表令和7年度版		20-11			
R203	水中ポンプ φ50 0.80kw 損料	1	日/台	建設機械損料表令和7年度版		13-7			
R204	ガソリン式発電機 1.0KVA以上 損料	1	日/台	建設機械損料表令和7年度版		15-7			
R205	高圧洗浄機(吐出量30.8圧力7.8)損料	1	日/台	建設機械損料表令和7年度版		20-17			

### 2) 直接経費積み上げ対象額

コード	名称・用途等	詳細	数量	単位	単価	採用額	合計	摘要
T701	道路使用許可申請手数料	申請時の手数料	1	回	2,300	2,300		・単価は上田警察署HP掲載費用による
T601	遠隔監視装置用サーバー保守点検料	サーバ管理費用	1	箇所/1年分	24,000	24,000		・見積 ・動いていない荻窪4・6号は対象外 ・FE-NET

### 3) 点検業務人工・時間等

点検内容	作業時間	保守点検作業員数	その他点検作業員数	緊急補正	冬季補正(西内のみ適用)
通常点検				1.3	1.067
特別点検				1.0	0.0

\*緊急補正は平日深夜割増(1.30)による

\*冬季補正は標高700m以上の施設が過半を占める地域において除雪や移動に係る労務費用として計上する。なお割増率は20%とし、適用期間は4か月間とする(12~3月)。

別表

## 丸子地区 委託物件一覧表

\*流入戸数は設計時の数値であり、契約時と異なる場合がある。

\*ポンプ、警報装置についても設計時の仕様・型式であり、契約時は交換等が行われている場合がある。

委託数	処理区名	処理区別数	施設名称	施設所在地	施設概要		業務回数		ポンプ設備概要					警報装置			備考
					使用開始	流入戸数	通常点検	特別点検	設置台数	製造者	形状	型番	出力(KW)	サーバー管理者	システム	通報形式	
1	丸子・東内処理区	丸子・東内処理区	1 腰越町	腰越142-3	2008	5	12回	2回	2	新明和	過流型汚水用	CVC65-P50L	1.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	依田川増水時に水没する
2			2 向井	腰越1520-2	2005	43	12回	2回	2	新明和	ノンクロック型	CNW80-P80G	1.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
3			3 道久	腰越1603-18	2009	7	12回	2回	2	エバラ	ボルテックス型	50DMV2 61.5	1.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
4			4 東内	御岳堂1-1	1999	427	12回	2回	2	鶴見	ハイスピン型	TOP80UZ45.5-65	5.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
5			5 上組	御岳堂315-2	2007	73	12回	2回	2	新明和	過流型汚水用	No.1:CNW651J-P65G No.2:CNWX651-P65G	0.75	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
6			6 三角	御岳堂664-6	1998	117	12回	2回	2	新明和	過流型汚水用	CVC801	3.70	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
7			7 依田	長瀬3378-2	1999	1238	12回	2回	2	新明和	新型ノンクロック型	CNWX1001	5.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
8			8 下の池	生田1205-4	2008	8	12回	2回	2	新明和	過流型汚水用	CVC65	1.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
9			9 石井1号	塩川2834-3	2000	256	12回	2回	2	クボタ	ボルテックス型	KS-VL63(発電機有)	1.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	非常用発電機設置
10			10 石井2号	塩川2769-1	2005	1	12回	2回	1	鶴見	水中汚水用	50TQ2.75	0.75		パトライ	近隣からの通報	制御盤・MH槽とも民地内
11			11 郷仕川原	塩川382-2	2011	34	12回	2回	2	鶴見	ハイスピン型	TOP80UVF47.5	7.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
12			12 松葉	塩川1121	2007	40	12回	2回	2	新明和	過流型汚水用	CVM65-P65G	2.20	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
13			13 南方	塩川600-4	2011	61	12回	2回	2	新明和	新型ノンクロック型	CNWX651-P65GWX	0.75	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
14			14 深山	腰越2135-3	2014	1	12回	2回	2	エバラ	ボルテックス型	50DMV2	0.40	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
15			15 荻窪1号	東内3424-1	2002	3	12回	2回	2	エバラ	ボルテックス型	65DMV/65DMV2	1.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
16			16 荻窪2号	東内3454-1	1993	3	12回	2回	2	エバラ	ボルテックス型	65DMV/65DMV2	1.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
17			17 荻窪3号	東内3705-2	1997	4	12回	2回	2	エバラ	ボルテックス型	65DMV261.5	1.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
18			18 荻窪4号	東内4064-15	1997	2	12回				ポンプ無し						使用者無し
19			19 荻窪5号	東内4040-3	2008	1	12回	2回	2	エバラ	ボルテックス型	65DMV61.5	1.5	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
20			20 荻窪6号	東内3500-1	2013	1	12回				ポンプ無し						使用者無し
21			21 荻窪7号	東内3493-1	2009	3	12回	2回	2	エバラ	ボルテックス型	No1:65DMV No2:65DMV2	2.20	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
22			22 和子	東内1995-1	2004	9	12回	2回	2	エバラ	ボルテックス型	65DMV61.5	1.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	

別表

## 丸子地区 委託物件一覧表

\*流入戸数は設計時の数値であり、契約時と異なる場合がある。

\*ポンプ、警報装置についても設計時の仕様・型式であり、契約時は交換等が行われている場合がある。

委託数	処理区名	処理区別数	施設名称	施設所在地	施設概要		業務回数		ポンプ設備概要					警報装置			備考
					使用開始	流入戸数	通常点検	特別点検	設置台数	製造者	形状	型番	出力(KW)	サーバー管理者	システム	通報形式	
23	西内処理区	1	西内第1	鹿教湯温泉1528	1988	11	12回	2回	2	クボタ	ボルテックス型	KS-VG803AA	3.70	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
24		2	西内第2	鹿教湯温泉1369-5	1989	2	12回	2回	2	クボタ	ボルテックス型	KS-VG803AA(発電機有)	3.70	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	・H29更新、非常用発電機設置
25		3	西内第3	西内664-2	1989	10	12回	2回	2	新明和	過流型汚水用	CVM65	2.20	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	・H29更新、高梨公民館敷地内
26		4	西内第4	平井1045-3	1994	180	12回	2回	2	鶴見	ハイスピン型	TOP100UV47.5	7.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	・H30更新、鹿教湯・西内全域より流入
27		5	西内第5	西内321-ハ	1994	1	12回	2回	1	エバラ	ボルテックス型	50DMV2 6.75	0.75		パトライト	近隣からの通報	
28		6	茂沢	平井1923	2007	110	12回	2回	2	鶴見	ハイスピン型	TOP80UZV 43.7	3.70	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
29		7	戸羽	平井401-6	2007	63	12回	2回	2	鶴見	ハイスピン型	TOP80UZV 43.7	3.70	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	
30		8	宮沢	平井44-2	2008	29	12回	2回	2	鶴見	ハイスピン型	TOP80UZVF 45.5	5.50	藤田エンジニアリング	FE-NET	メール送信	

\*荻窪4号、6号マンホールポンプは使用者がいないため、警報装置の運転は停止中である。また、汚水ポンプも撤去しているため特別点検の対象外としている。